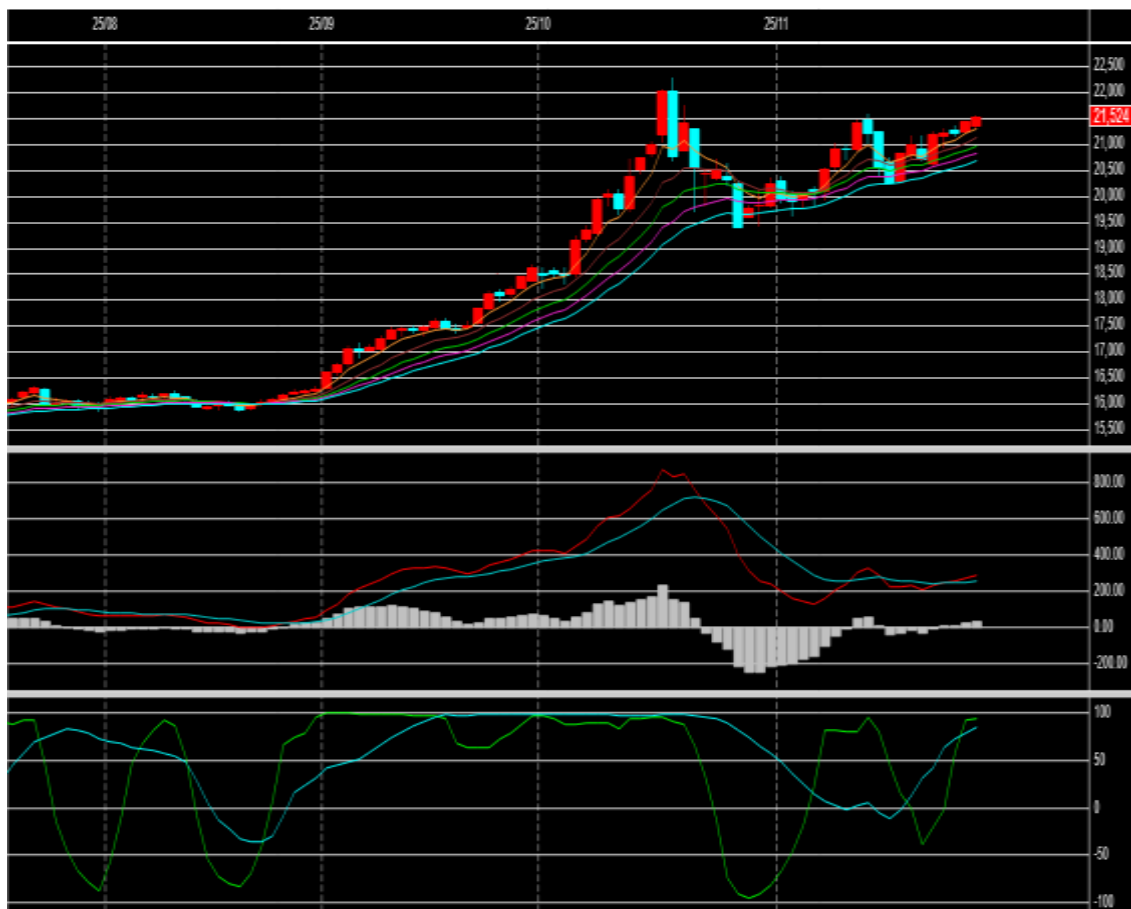


<金標準、FOMC に向けた利下げ期待で高値追い維持・・・>



(出所：オアシス)

ウィリアムズ NY 連銀総裁のハト派発言で 35%まで低下していた 12 月の FOMC での利下げ確率が 80%を上回るなど急速な利下げ期待が強まり、21000 円を上回った金標準先物は、週末には 21550 円まで高値を試している。特に週末は世界最大の先物取引所運営会社である米 CME グループのイリノイ州オーロラ郊外にあるデータセンター複合施設の冷却システムが故障し、10 時間を超える取引停止を受け、取引再開後は銀価格が史上最高値を更新するなど金価格も感謝祭明けの薄商いの中で高値追いを見せている。

市場は 12 月に入り最大の注目は、10 日に開催される年内最後の FOMC で利下げを実施する事が出来るのか、またパウエル FRB 議長の記者会見での発言内容に注目が集まると思われる。特にトランプ政権下では、次期 FRB 議長にトランプ大統領に近いハセット国家経済会議 (NEC) 委員長が最有力の憶測が流れるなど利下げに前向きな人物だけに、ドル安が 2026 年の金価格を支える可能性が高く、FOMC まで高値追いの値動きが続くと思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が切り下げ、シグナルは下げ止まっている。RCI は短期が高値で維持し、長期も上昇している。日足が指数平滑移動平均線のレンジを上回っており、強気を維持した値動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 1,740,000 円(2025 年 12 月 1 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいと、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 102,960 円(2025 年 12 月 1 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>